

まちづくりは、市民の声から

「市政に関する意識調査」

市では、本年度から、まちづくりの主役である市民の思いや願いをしっかりと受け止め、今後の市政に生かしていくために、「市政に関する意識調査」を実施しました。

【調査のあらまし】

調査期間：6月19日～7月5日

調査対象：市内在住の18歳以上の個人3,000人（無作為抽出）

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査項目

《継続調査テーマ》

市への愛着、魅力、定住意向、暮らしの満足度、幸福度、まちづくりの重要度等

《特定調査テーマ》

- ①市民共生 ②市民自治 ③子育て ④地域医療 ⑤地域福祉
- ⑥観光・産業 ⑦広報・広聴

年齢	割合
20歳代以下	7.4%
30歳代	10.5%
40歳代	13.5%
50歳代	13.9%
60歳代	24.4%
70歳代以上	29.9%
無回答	0.5%

表1 ●年代別 回答率

調査には、1241件（41.4%）の回答をいただき、年代別では、表1の割合でした。

「いつもの暮らしが幸せ」

現在の暮らしに幸せを感じておられる方は、「そう感じる」(21.1%)、「どちらかといえばそう感じる」(46.2%)を合わせると、67.3%となっています。(図1)

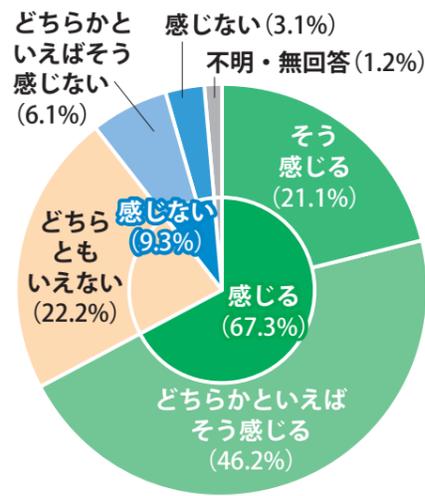


図1 ●現在の暮らしに幸せを感じますか

幸せを感じているとされた方の多くは、「健康」、「家族関係」、「自由な時間」、「充実した余暇」があるから幸せを感じておられています。

「幸せ」向上に向けて

市では、いつもの暮らしが幸せであることを実感いただくための土台となる「健康長寿」のまちに向け、県内で唯一、健康診断の対象者を16歳以上とする健康増進事業や、運動を主眼に置いた「健康長寿を延ばそうプロジェクト」等に取り組んでいます。

※百分率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



人口減少に 立ち向かうために

甲賀市の将来を考えたとき、人口減少の原因の一つである市外への転出を抑えることが必要です。調査結果では、これからも甲賀市に「住み続けたい」と思われている方は、63.6%となっています。また、「どこへでもいえない」と思われている方は、30.0%おられました。(図2)

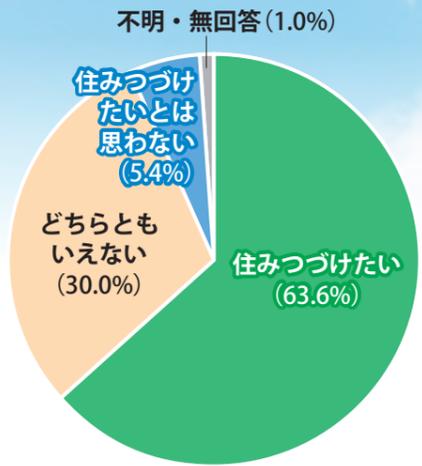


図2 ●甲賀市への定住意向

若者の定住に向けて

市では、女性や若者の市内就業や起業を支援するとともに、地域への定住やU・I・Jターンを進めるプロジェクトに取り組んでいます。

- 若者就活サポート事業
- 活き活き女性活躍事業
- 移住定住促進事業
- 定住促進リフォーム事業 等

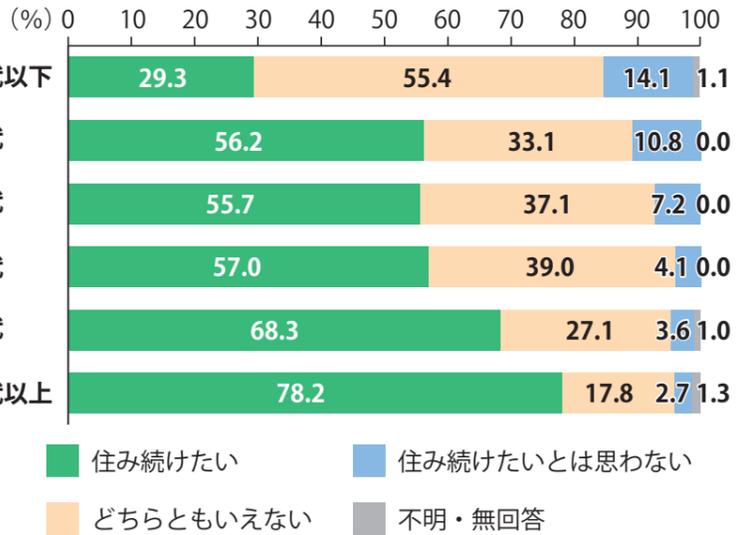


図3 ●甲賀市への定住意向《年代別》

魅力の発信で人口の増加に

調査結果では、甲賀市の魅力を市外の人に自慢できる方は、「自慢できる」(13.0%)、「まあまあ自慢できる」(46.3%)を合わせると、59.3%となっています。(図4)

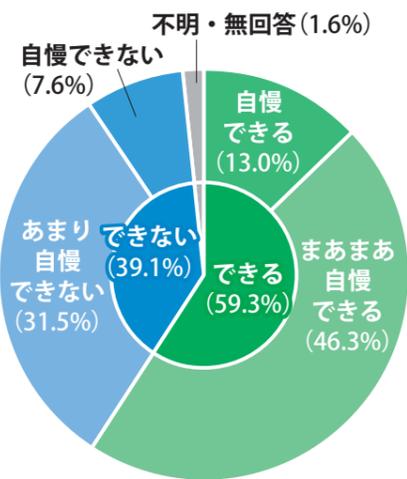


図4 ●甲賀市の魅力を自慢できますか

人口を増やすためには、甲賀市に住み続けていただくこと他に、市外の方に、住んでいただくことも必要となります。そのため、市民の皆さんに、甲賀市の自然や文化、暮らしやすさ等の魅力を発信していただくことが大切です。

「めぐるけど知られていない魅力発信に向けて」

市では、「選ばれるまち」となるため、日本遺産に認定された「忍者」と「信楽焼」をはじめとする多くの歴史や伝統文化等の「魅力」、子育て、教育、福祉施策の充実等の「住みよさ」を市内外に発信するプロジェクトに取り組んでいます。

- ふるさと納税推進事業
- 甲賀流シティーセールス推進事業